

# 昭和61年度 和歌山県文化賞

たか い さだ じ  
高 井 貞 治 (号 貞二)

住 所：東京都港区

出 身 地：大阪府大阪市

生 年：明治44年

## ◎業績及び経歴

旧制伊都中学校に通学しながら大阪の信濃橋洋画研究所に学ぶ。第17回二科展に初入選し、その後新造型工房、九室会の設立に参画し、シュールレアリスムの作家として注目を集めた。戦前には二科展特待賞、文展岡田賞等を受賞する。

戦後、行動美術家協会創立に参画し精力的に作家活動に努めたが同協会退会后、昭和29年に渡米し、ニューヨークに住み画家活動に専念する。その間、ポインデクスターギャラリーにて個展(2年に1回)。全国選抜展、コ克蘭ビエンナーレ展、カーネギー国際美術展等に招待出品するなどアメリカ画壇で活躍する。また昭和45年からサウスキャロライナ州ウイントロップ女子大学美術部客員教授(4年間)も務めた。

昭和38年二紀会委員となり、第3回福島賞受賞、現代日本美術展、秀作美術展、日本国際美術展に出品するなど画家としての黄金期を迎えた。その後、メキシコ国立近代美術館や、国内の国立美術館等の主催展に出品された。

昭和54年に和歌山県立近代美術館にて高井貞二展が開かれ、同美術館には氏の作品130余点が寄贈されているなど本県美術界に大きく貢献をされた。